

令和6年度 青少年の家不登校対策事業「第6回ふれあいキャンプ」事業報告書

1 事業内容

(1) 趣 旨 青少年教育施設において、学校生活に悩みを持つ児童生徒を対象に、学習活動、自然体験活動、集団活動、仲間との交流を図ることで新たな自分に気付き、周囲との関係について学び、自分を見つめ直そうとする機会の提供に資する。

(2) 対 象 県内の不登校傾向が見られる小中高生 20名程度

(3) 期 日 令和6年12月21日(土)～22日(日) 1泊2日

(4) 場 所 香々地青少年の家

(5) 参加人数 17名 (児童生徒11名、保護者6名)

	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	高1	合計
男子		1	1			2			4
女子			3		2		1	1	7
合計		1	4		2	2	1	1	11

(うち日帰り：高1女子1名)

(6) 講 師 大分大学教授 溝口 剛 氏

(7) 支援者 大分大学学生 13名

(8) プログラム

①活動Ⅰ：「お菓子の家を作ろう♪」

手に入りやすい市販の菓子で「お菓子の家」の作製に挑戦した。デコレーションではそれぞれの個性を發揮し、メンタルフレンドと協力しながら、夢中になって思い思いのお菓子の家を完成させることができた。



②活動Ⅱ：「クリスマスリースを作ろう！」

クリスマスリースやクリスマスカラーに込められた意味を知り、オリジナルのリース作りに挑戦した。材料選びや配置にこだわりながら、参加者もメンタルフレンドも自分だけのリースを完成させることができた。



③活動Ⅲ：「ネイチャーゲーム de クリスマス」

ネイチャーゲーム(コウモリとガ、フィールドビンゴ、しおり作り)をとおして、香々地の季節や自然を体感できた。活動後のおやつにたき火で焼き芋を作り、皆で味わった。



(9) 事業評価

参加者アンケート集計 (対象: 参加者10名)

1. キャンプの満足度

	4	3	2	1	平均
お菓子の家を作ろう♪ (10)	9	1			3.9
クリスマスリースを作ろう! (10)	7	2	1		3.6
ネイチャーゲーム de クリスマス (9)	4	4	1		3.3
のんびりタイム (10)	10				4.0

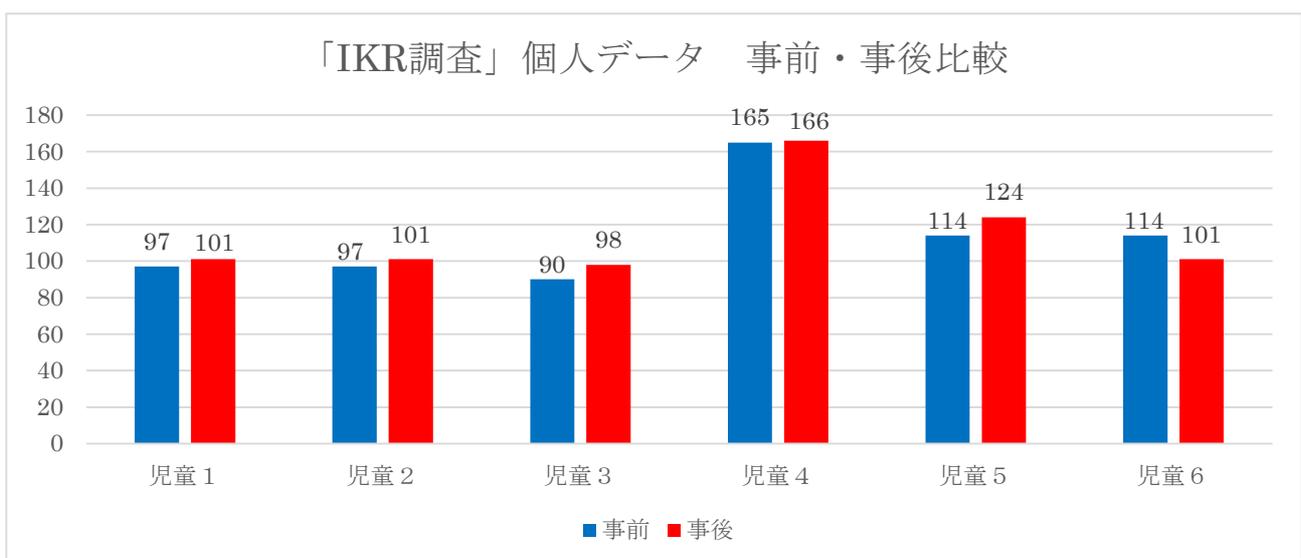
2. 自己評価

	4	3	2	1	平均
活動に積極的に取り組むことができた	7	2	1		3.6
MF や友だちと話げできた	10				4.0
キャンプを楽しむことができた	10				4.0
周りの力をかりずに活動げできた	3	5	2		3.1

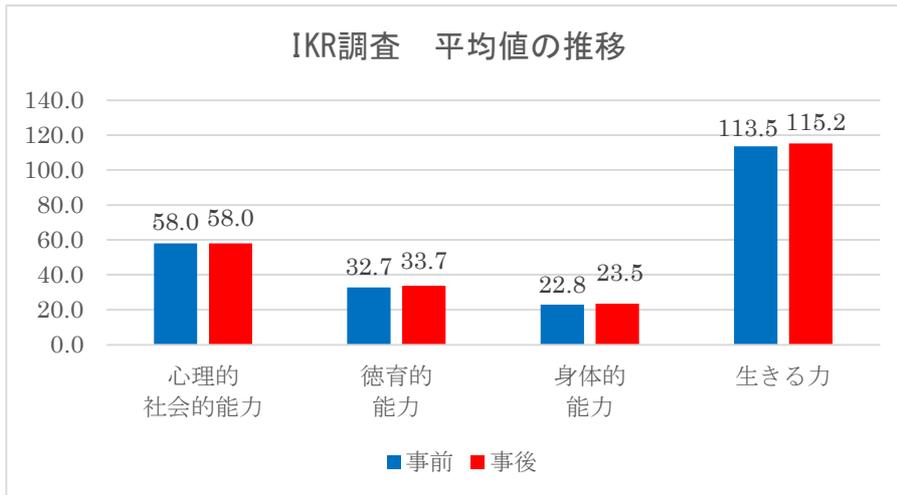
メンタルフレンドアンケート集計 (対象: メンタルフレンド13名)

	4 (変化大)	3	2	1 (変化小)
意欲	6	3	2	2
コミュニケーション	7	5	1	
自己肯定感	8	2	2	1
自立	6	4	2	1

IKR アンケート調査集計 (対象: 参加者6名)



IKR 調査は参加者6名に実施した。6名のうち5名に心の変容がプラスに表れていた。→ 83.3%



「徳育的能力」では1.0ポイント、「身体的能力」では0.7ポイント、「生きる力」では1.7ポイント向上。
→ 「徳育的能力」と「身体的能力」、「生きる力」に変化が見られた。「心理的社会的能力」は変化が見られなかった。

3 成果と課題

(1) 成果

- どの活動についても満足度が概ね高いキャンプとなった。アンケート結果より、全員がキャンプを楽しむことができたと回答している。
- アンケート結果より、今回も「のんびりタイム（自由選択活動）」での満足度が高く、重要な活動であることが分かる。不登校または不登校傾向にある子どもにとってメンタルフレンドとのつながりを深める時間であるとともに、メンタルフレンドが参加者に意思を確認、または選択肢を提示することで、自己選択・自己決定を促す機会となっている。
- 参加者にとって、メンタルフレンドの存在が非常に大きい。子どもに安心感を与え、子どもの活動意欲の向上にもつながっている。メンタルフレンドは、子どもの様子や特性を理解するとともに主体性を尊重し、自己決定を促す関わり方を継続して行っている。メンタルフレンド会議や提出された記録より、子どもの行動に対して理解し、声かけや行動などの働きかけを行っていることが分かる。
- 年間をとおして実施することにより、回を重ねるほどに参加者どうしのつながりができていくことも、本事業のよい効果であるといえる。

(2) 課題

- 参加者にとって「第3の居場所」になっているように感じる一方、情報を必要としている相手に届く広報活動を考え、新規参加者の増進を図りたい。

(3) 子どもたちの声（メンタルフレンドに対して）

- 2日間ありがとうございました。
- 最初、緊張していた私にやさしく話しかけてくれてありがとう。そのおかげで楽しく過ごせたよ！
- お話できて楽しかったです。また遊ぼうね。